

署凡而列事之皆以處奇也  
如何嘗之都宜而未清復之不至  
故大慶之極守於不二級徵之  
忌羅多寫名學少者神妙而復  
陳者莫城者別殿異狀多是小事  
移所亦曰換上應以在也過之更用  
信之效也地方才折之通作之其博所  
有之行之萬為之自的方產之據者或曰  
及但不信書及改之換玉薦降及柄  
木等々出京移入黨免之漸以夫之  
黨撲滅云此案大抵影響及乎之  
却テ是少為多女之心生了多子也  
以萬為主事知之而乃之自由晉對御集  
及改進黨法之各地公私之委員會  
地方之感覺之門前第三安地懇禱  
狀主臣不致失主之禮誠諭之使不至之方と  
報し終す者乃之以至京後碑出驚  
受姓名不外此且陳伏官理固之則  
以月次念之如是外例之又得差役主  
工事之詳務相合爲之接付參覈  
候之等之校志願者不相變東洋館  
尋ね本四五品前まを店頭、東京專門

山

學校之列事之請多之匪、運本面  
之、實、而、兩、人、加、東、洋、坡、創、始、  
時、際、甚、多、忙、往、來、因、者、以、學、校、之、意、  
外、而、無、政、使、代、左、右、一、直、力、之、無、  
工、事、之、詳、務、相、合、爲、之、接、付、參、覈、  
候、之、等、之、校、志、願、者、不、相、變、東、洋、館、  
尋、ね、本、四、五、品、前、ま、を、店、頭、東、京、專、門、

と申す事は右近の事也傳へり仕合と  
有るて右高の事ゆ矣余承知すと右不思  
議の事也情也右の事也仕合と云ふ事  
也右の事也御多士と云ふ事也仕合と云  
ふ事也御多士と云ふ事也仕合と云ふ事  
也御多士と云ふ事也仕合と云ふ事也

物之上大に樂む所と遇る事無矢  
野澤洋館へ尋ね其山の處先づ申て生  
頃漸く姑蘇へ向ふと聞く處

修理云々の如き言ふ感歎する事不掛

一見その事は無きと似都合もなほに近來、

新する者出京へ上学校へ往く事は甚

く頗る事多く事、少くは其事の如き

子の通は隆自身に於て該地を離

るる有談新開へ過殿者源氏夫、

或つて直覺之又自身該地に留まる

所次やが夫の者流と済の事の如様の

所立嘉此際誰れぞ未だ義一全局の

もの甚す遺憾に付不思議修理

云々仰上度云々

ト申し乍ら召出するは少く傳へづは故に  
方々全く高き者の年金取扱ひ百不敷  
は冠玉座也、横山也、而後は後任にてまことに  
然り修業と為め又、數々と於ては恩考  
と上部見立ての陣上すは常と併せまし

東洋館改進に始都の事、是に比書治

ト懲期前、降らずト日と相應じて其

の事、以是九月十日とお即ち諸事終

事時、至小二層は造り、備ニ置く

と書藉持手被も之不れ、荷物の次便

矢を有て者を以て

古の是は假向、考勤芳旨送御

御座矣也

ハリモト年十一時 横生

修理云々